

「傷つくこと、傷つけること」 を考える

自分らしく生きたい、心安らかに生活したい、誰もがそう願います。しかし、人と人との関係においては、時に傷つくこと、そして相手を傷つけてしまうことが起こります。相手を傷つける時は、意図している場合もあれば、そうでないことしばしば生じており、ここから様々な誤解が起こることもあるでしょう。

日々の生活のなかにおける「傷つくこと、傷つけられること」の事象を取り上げながら、“その時、私の中でどのような感情が生じたか”“なぜその事が起こっているのか”などについて参加者の皆さんとともに問い直すことによって、性別や年齢、立場に関わりなく心地よい関係を築くことについて考えましょう。

【講師】 いえたか ひろし
家高 洋 氏

大阪府生まれ。大阪大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。
20世紀の哲学の現象学等を研究。博士(文学)。
大阪大学大学院文学研究科臨床哲学研究室助教等を経て、
2016年に東北医科薬科大学教養教育センター哲学教室に
准教授として着任。現在、同大学教授、教養教育センター長。

参加無料
託児あり

【日時】 令和2年 **11/22** (日) 午後 1 時～

午後 3 時 30 分

【会場】 上越市市民プラザ第1会議室 【定員】 40人(申込順)

【申し込み期間】 10/5(月)～10/26(月)

※ 申込みの詳細については裏面をご覧ください ※

■ 企画・運営団体の紹介 ■

「自然な出産と母乳育児を考える会」

命の始まりや子どもの育ちといった「命に向き合うこと」を共に考える機会を設ける活動をしています。講演会や研修会、ワークショップ、映画の上映会などによりさまざまなテーマに触れることで自分自身のうちにある課題を導き出し、考えるきっかけをつくります。

■ 申込み・問合せ ■

ウィズじょうえつ(上越市男女共同参画推進センター)
〒943-0821 上越市土橋 1914-3 上越市市民プラザ 2階
電話:025-527-3624 FAX:025-522-8240
E-mail:d-sankaku@city.joetsu.lg.jp

受付時間:平日 8:30～17:15
(土・日・祝・市民プラザ休館日(第3水曜日)を除く)

この講座は、上越市が男女共同参画推進センター登録団体に事業を委託しています。

受託者 自然な出産と母乳育児を考える会

11/22 「傷つくこと、傷つけること」を考える 参加申込書

- ◆ 参加ご希望の方は、必要事項をご記入の上、電話、FAX、郵送、メールにてお申し込みください。
- ◆ 小学生以下のお子様と一緒に会場には入れませんのでご注意ください。
- ◆ お申し込みは「参加者一人につき1枚」としてください。

ふりがな 氏名	電話番号(日中連絡が取れる番号)	
	FAX番号	
住所	〒	
託児を 希望する場合	ふりがな お子さんのお名前	<託児に関する備考>
	性別 年齢(歳 カ月)	
	ふりがな お子さんのお名前	
	性別 年齢(歳 カ月)	

※個人情報の利用目的…申込書に記入いただく個人情報は、当講座実施に関する事のほか、新型コロナウイルス感染症の対応のため、保健所等の行政機関へ提出する場合があります。

◆託児について◆

対象:生後6か月~小学校就学前
定員:10人(申込順)

託児ご希望の方は、事前に保育連絡票をお送りいたしますので、「郵便番号」「住所」を忘れずにご記入ください。

◆欠席連絡について◆

申し込み後に欠席が見込まれる場合、また託児が不要になった場合は、お手数ですが当センターまでご連絡ください。

電話:平日 8:30~17:15 土曜 9:00~17:00
※土曜は、男女共同参画推進センターはお休みです。
女性相談の相談員にお伝えください。

〒943-0821

上越市土橋 1914-3 市民プラザ内
ウィズじょうえつ

(男女共同参画推進センター) 行

<11月22日「傷つくこと、傷つけること」
講座参加申込>

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
当センター講座では、マスクの着用をお願いしています。

講座当日は、参加者ご本人も、保育対象のお子さんも、忘れずに着用してきてください。

←郵送の際、切り取ってご使用ください。

